

門 13
號 333
卷 3

注 駕 籠

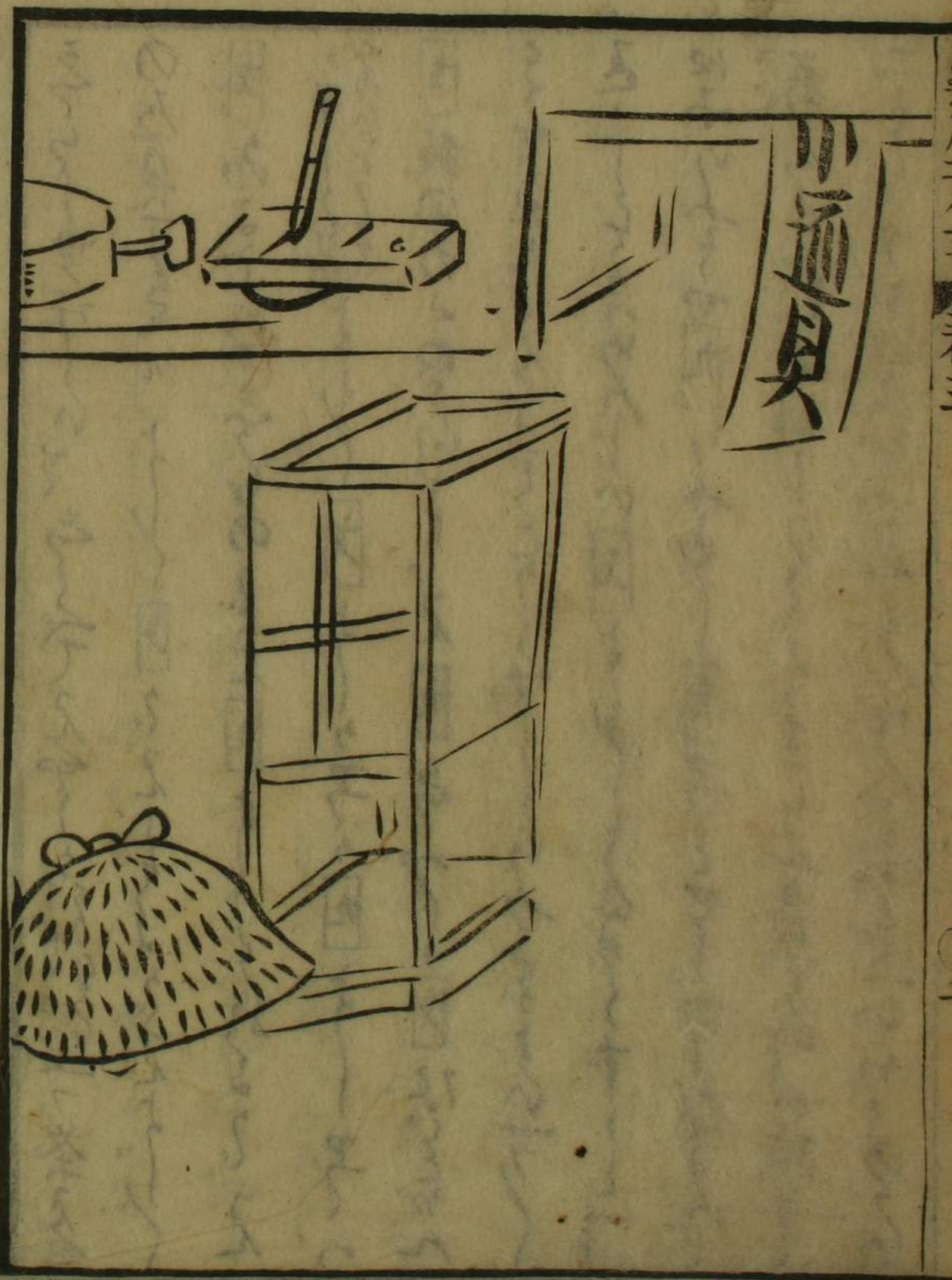
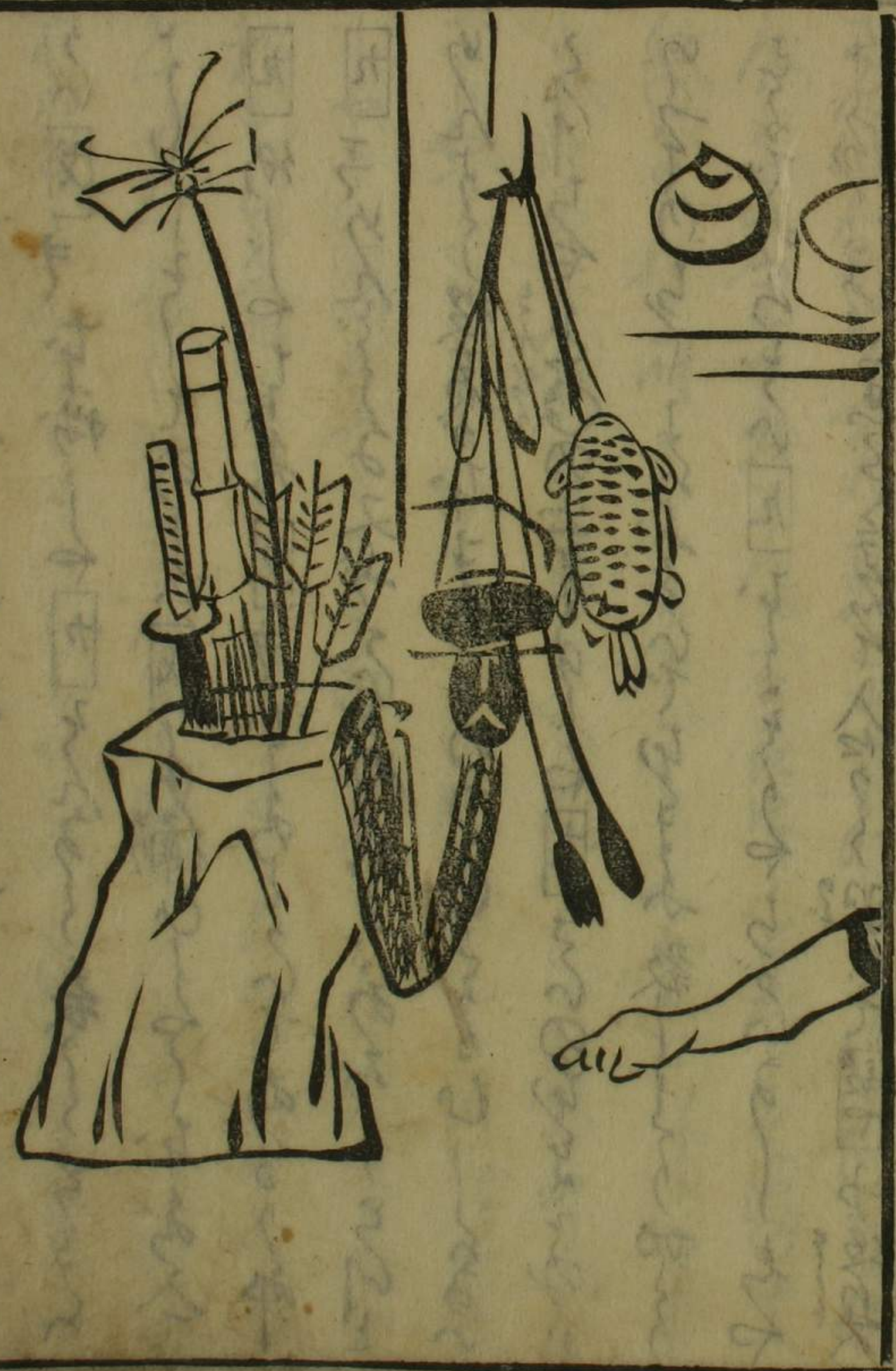


樂屋方言卷之三

茶屋場

新板のよしの納いん小日いん芝居の宝たからおでうおとやうはし
と誠まことは物もの二につりつりもてしもてし弁べんををののううつつとと樂がくややととああと
ささががははるるののねねををののははららちちんんどどろろののよよししののままりり
手てををののままりりとと斗とははしし美み初はつ遠とんののままりりとと小こななりり大だい
おおととままりりははしし内うちははああるるああらら二に様ようのの津つままをを今いまののままりり
りりののままりりととままりりああるるゆゆととりりととりりととりりととりりととりりととりり
ははよよりりうう衣えををおお紗さととおおととりりひひけけ小こななりり大だいのの入いおおと
おおととりりととりり板いたけけおおととりりののままりりとと小こななりり大だいととよよんんででおおとと







樂屋不言卷三

六

